

や世界の全面を覆つてゐる經濟不安が政治不安を生み政治不安が更に經濟不安を生み行くことは言ふまでもない一九三三年に於ける政治不安をあぐればキューバにはアメリカ資本主義反對の革命運動起り日支停戦が決せられたが兩國間に於ける暗雲はさらず印度に於ける反英國民運動は一見下火になつてゐるがこれも期限付休戦である尙歐洲にはアイルランドにドイツを中心とする國境に不安な情勢がつゞけられてゐる殊に三月日本の國際聯盟の脱退つゞいてドイツの脱退は世界の不安を一層強るに至れりその結果はドイツを中心に英佛、オランダ、ポーランド、スイス、オーストリアの對立が尖鋭化し東洋にありては支那中國を中心の日英佛等の對立抗爭を日に日に激化せしめてゐる、かくて各國資本主義國は一九三六年を目標に世界第二次戦争の火蓋を切らんとして戦争準備のために狂奔し労働者農民の利益を犠牲にし一般勤勞大衆

の生活を窒息せしめんとするに至つてゐる而も戦争遂行によつて自己の地位を安全に水鏡せんとする資本家地主かつては労働者農民の組織的反抗闘争を眼り込ませ抑へつけるために自由主義温情主義の假面を被つてゐたが今や勇敢に假面を脱ぎ捨て眞向より労働者農民に銃剣をつきつけて來たのであるドイツにあつては資本家地主の忠實なる代理者ヒットラーが政權を握るやユダヤ民族を國外に追放し労働者農民の一切の政治的自由を奪ひ完全に資本家地主の利益のために奉仕したのであるがドイツに限らず資本主義諸國內の一部にはフアンシヨ運動の波が高まつて來たのである而もかゝる資本家地主のための反動政治の徹底的遂行にもかゝはらず飢餓と窮乏に起つ労働者農民は到る處に闘争の勢力を強めてゐる、フアンシヨ獨裁を誇るドイツに於てはヒットラ幕僚がヒットラー政府を倒せと闘争に立ち上つてゐるキューバーの土人労働